

令和3年6月

四国地区高等専門学校体育大会における新型コロナウイルス感染症
感染拡大防止に関するガイドライン(香川高等専門学校高松キャンパス)

1. 四国地区高等専門学校体育大会における共通予防対策について

四国地区高等専門学校体育大会の開催にあたり、すべての参加者個々人が、感染予防対策を確実に実行することが感染拡大防止の基本である。以下の事項を感染予防対策の基本とし、予防対策の確実な実施に向け準備・運営にあたる。

- ・手指衛生の励行
- ・競技及びウォームアップ実施時以外、常時マスクの着用
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・「3密」(密閉空間・密集場所・密接場所)の回避
- ・毎日の健康と行動の記録(体調管理チェックシート)
- ・体調不良の場合、参加自粛
- ・大声での会話・応援の自粛
- ・接触確認アプリ(COCOA)の利用推奨
- ・大会期間中の不要不急な会食の自粛
- ・選手、関係者、観客などのゾーニング確保

2. 四国地区高等専門学校体育大会における大会運営上の重点対策

(1) 選手・監督(チームスタッフ等含む)

ア. 毎日の健康(起床直後の検温等)と行動の記録を習慣とする。また、大会参加時は現地入り14日前からの健康状態、行動内容を体調管理チェックシート(添付様式。ただし学校独自の様式がある場合は学校独自の様式を使用可能)に記録すること。体温37.5℃以上の者は、大会会場への来場は自粛し、体調が良くない場合も同様とする(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)。また、現地出14日後までの健康状態、行動内容も体調管理チェックシートに記録すること。

なお、体調管理チェックシートは学校毎に大会終了後1か月間保管し、大会本部が求めた場合は提出すること。

イ. 監督(指導者)は、選手の健康状態、行動内容を常に把握、管理するとともに、自らも感染しないように努める。試合前に選手の健康状況を確認し、体調不良の選手がいた場合には「3. 当日、学生に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応について」に従って対応する。

ウ. 大会会場入場時には、手指消毒とともに体温測定を行う。

- エ. 大会会場内の移動や待機時は、マスクを着用する。また、交代選手等が控える場所では、可能な限りマスク着用するとともに、選手らの間隔をとり、接触を避ける。
- オ. 更衣室等の利用にあたっては短時間の利用とし、一斉に利用しないようする。また、不要な会話・接触は控える。
- カ. 監督（指導者）からの指示などの際は、選手との距離を意識する。また、一定の距離が取れる場合は、マスクを外してよいが、競技上必要最低限に止めるよう努める。
- キ. 密接場所を避けるため、握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体的接触を避け、近距離での会話や発声はしないこと。
- ク. 水分補給のためのペットボトル等の共用はしない。また、ペットボトル等は所有者が分かるよう記名や目印を記すようにし、他者から触れられないようにする。
- ケ. 観戦する場合は、マスク着用のうえ「3密」を回避する行動をとる。また、声援や掛け声は、極力、避けるようにする。

（2）大会会場運営者

- ア. 開会式・閉会式は原則実施しない。
- イ. 毎日の健康（起床直後の検温等）と行動の記録を習慣とする。また、大会参加時は現地入り14日前からの健康状態、行動内容を体調管理チェックシートに記録すること（添付様式。ただし学校独自の様式がある場合は学校独自の様式を使用可能）。体温37.5℃以上の者は、大会会場への来場は自粛し、体調がよくない場合も同様とする（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。また、現地出14日後までの健康状態、行動内容も体調管理チェックシートに記録すること。
なお、体調管理チェックシートは学校毎に大会終了後1か月間保管し、大会本部が求めた場合は提出すること。
- ウ. 大会会場内では競技運営に支障がでる場合を除き、マスク着用をする。
- エ. 大会会場の入口に受付所を設け、手指消毒・検温を行う。また、体調不良者がいた場合には「4. 体調不良者発生時の対応について」に従って対応する。
- オ. 本部及び受付所は、直接、多数の人と人が介する場となることから、アクリルボードの設置など対策を講じる。
- カ. 主に参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取りを定期的に行う。
- キ. 密集空間を避けるため、人が集まる観客席、控え所等では1～2メートル程度間隔を空ける指導・徹底する。また、会場への出入りに時間差を設け

るなど導線を工夫する。

ク. 大会に参加したものの中に感染者が出た場合には、その他の参加者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡が取れる体制を確保する。

3. 当日、学生に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応について

ア. 発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。

イ. 当日、急に症状が出た場合、監督（指導者）は保護者及び大会本部に連絡し、帰宅（または帰宿）させる。

ウ. 監督（指導者）は、他の選手等の健康観察を徹底する。

4. 体調不良者発生時の対応について

ア. 入場者、受付時の体調不良者発生時の対応について

・体調不良者または症状が確認された者については、大会本部に報告及び保護者等に連絡した上で、帰宅（または帰宿）を促し、各自医療機関を受診するよう伝える。

イ. 入場後、大会期間中の体調不良者発生時の対応について

・大会本部は、緊急性を含め、現地の医療機関や保健所に指示を仰ぎ対応する。
・診察の結果、新型コロナウイルス感染症が疑われる場合は、速やかに医療機関や保健所に従い、適切に対応する。

5. その他

ア. 本大会は新型コロナウイルス対策における対応について、各県教育委員会から通知があった場合は、それを優先して遵守する。

イ. 本大会は各県新型コロナウイルス対策本部会議で示されたその時点の対策期（警戒期）における対策を遵守する。